

成績評価指標

1 成績評価の基準・方法

- (1) 学年末評価は、「優・良・可・不可」で表示し、その区分は、次の得点範囲とする。
- ・優…100～90点　・良…89～70点　・可…69～60点　・不可…60点未満
- (2) 学年末試験以外の試験は、100点法の素点で評価する。

2 客観的な指標の算出方法

GPA制度の成績評価を求められたときは、科目毎に100点を満点として、90～100点を「S」、80～89点を「A」、70～79点を「B」、60～69点を「C」、60点未満を「D」として評価する。

これらの成績分布をGPAによる客観的指標として、下記のとおり算出する。

- (1) 学生一人ずつ、全科目の評価を素点をもとに「S」…評価4点、「A」…評価3点、「B」…評価2点、「C」…評価1点、「D」…評価0点としてGPに換算する。
- (2) GPAを算出する基準は、次のとおりとする。

$$GPA = \frac{(\text{授業科目で得たGP} \times \text{その授業科目の単位数}) \text{の総和}}{\text{授業科目の単位数の総和}}$$

3 授業課目の学習成果の評価

定期試験60点以上、出席率9割以上を認定する。

各授業課目の成績評価は、各期末に行う試験、学習の成果、履修状況等を総合的に勘案し、学年末に実施する。

出席時間数の合計が卒業時まで1,800時間未満で、それぞれの課目について標準時間数が80%に達しない者は、その課目について評価を受けることができない。